

むらひ じんじゃ
村松神社の瓜（うり）

むかし、左 甚五郎ひだりじんごろうという大変有名な彫刻家ちょうこくかがいた。この甚五郎は日光東照宮とうしょうぐうの眠り猫ねむねこなどを彫ほったことで知られている。

甚五郎は、東照宮に行く途中とちゆう、村松神社に立ちよった。境内けいだいで休んでいたところ、本殿ほんでんの左の柱はしらに本物そっくりの「うり」を彫ほっていった。

この柱に彫ほった「うり」は、不思議ふしぎなことに、季節によって色が変わるようになった。さらに、何か変わったことが起こる前にも色が変わるようになった。